

生き生きプラン

草津市シルバー人材センター第3次中期計画

(令和8年度～令和12年度)

令和8年(2026年)3月

公益社団法人草津市シルバー人材センター

目次

第1章 中期計画の策定にあたって

- ◆1 計画策定の趣旨..... 1
- ◆2 基本理念..... 1
- ◆3 計画期間..... 1

第2章 草津市シルバー人材センターの現状と課題

- ◆1 会員の状況..... 2
- ◆2 業務実績..... 6

第3章 計画の詳細

- ◆1 スローガン..... 9
- ◆2 数値目標..... 9
- ◆3 基本方針..... 10
- ◆4 施策の方向..... 10
 - ・会員拡大と生きがいの充実..... 10
 - ・就業開拓と拡大..... 10
 - ・安全就業の推進..... 11
 - ・運営体制の充実強化・効率化..... 11

資料

- 組織図..... 12

第1章 中期計画の策定にあたって

◆ 1 計画策定の趣旨

公益社団法人草津市シルバー人材センターは、平成28年3月に第1次の中期計画を策定して以来、令和3年度からは第2次目となる「生き生きプラン（令和3年度～令和7年度中期計画）」をもとに計画的な事業推進に取り組んできました。この度、第2次計画の終了年次に当たり、第3次中期計画を策定することになりました。

少子高齢化が進み、地域社会の担い手として高齢者のより一層の活躍が期待される中、シルバー人材センターの果たす役割が重要なものとなっています。

この計画は、人生100年時代を迎え、刻々と変化する社会情勢の中においても当センターがその役割を果たし、安定的かつ継続的に事業運営を行っていくための基本的な方向性を示すために策定します。

◆ 2 基本理念

自主・自立、共働・共助のもと、高齢者が就業を通じて

笑顔で 元気に 生き生き輝く地域社会の実現を目指します

1. 働く意欲のある高齢者の就業を促進します
2. これまでの知識や経験、能力を活かした就労に努めます
3. 多くの仲間とともに生きがいの充実を図ります
4. 心と体の健康づくりに努め、豊かな高齢期の実現を目指します
5. 地域活動への参画と社会貢献に努めます

◆ 3 計画期間

令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間

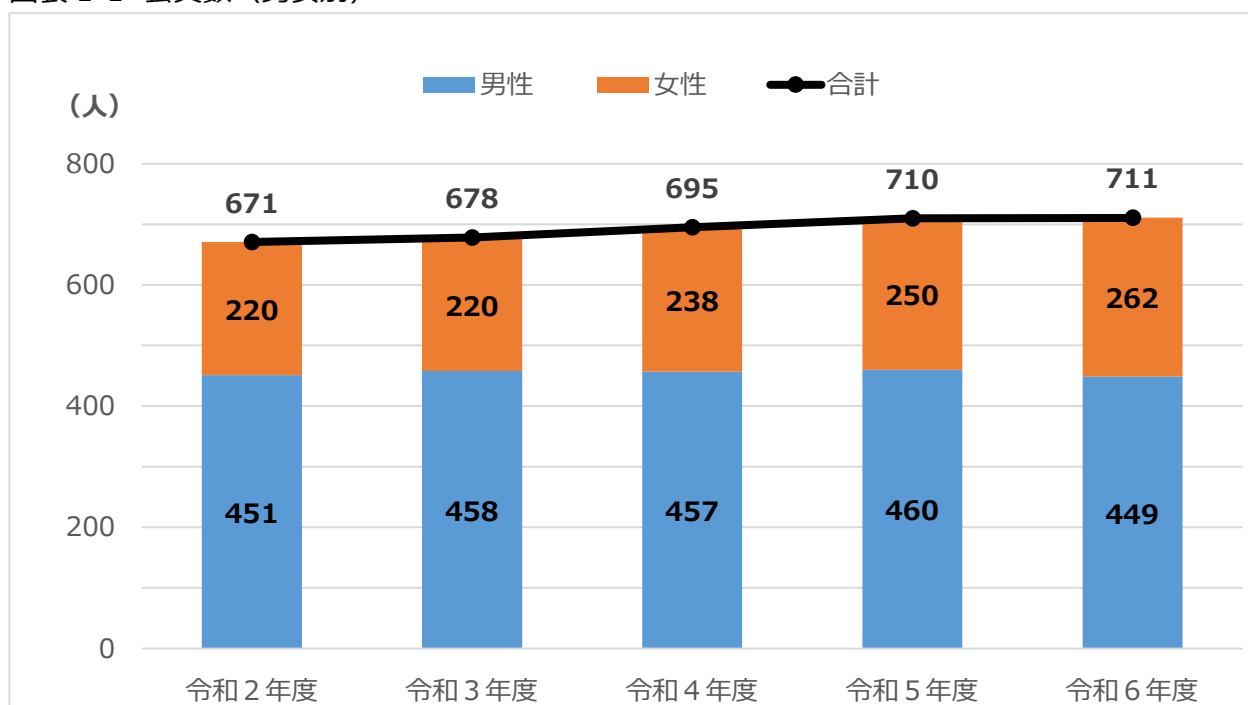
第2章 草津市シルバー人材センターの現状と課題

◆ 1 会員の状況

現状

- ▶ 会員数は、令和5年度に700人を超え、その後も緩やかに増加を続けています。また、会員の男女比は、概ね7対3の割合で男性の割合が高い状態です。（図表1-1）
 なお、草津市の60歳以上人口の男女割合は同程度で、わずかに女性が多くなっています。（図表1-4）
- ▶ 草津市の60歳以上人口に占める会員の割合（粗入会率）は1.83%となっており、県内平均の2.79%を下回っています。（図表1-2）
- ▶ 会員の年齢構成は、直近の令和6年度末では75歳～79歳の区分が32%、次いで70歳～74歳の区分が29%を占めています。（図表1-5）
- ▶ 会員の平均年齢は年々上昇しており、直近の令和6年度末では、男性が75.4歳、女性は74.3歳、男女合わせて75.0歳となっています。（図表1-7）

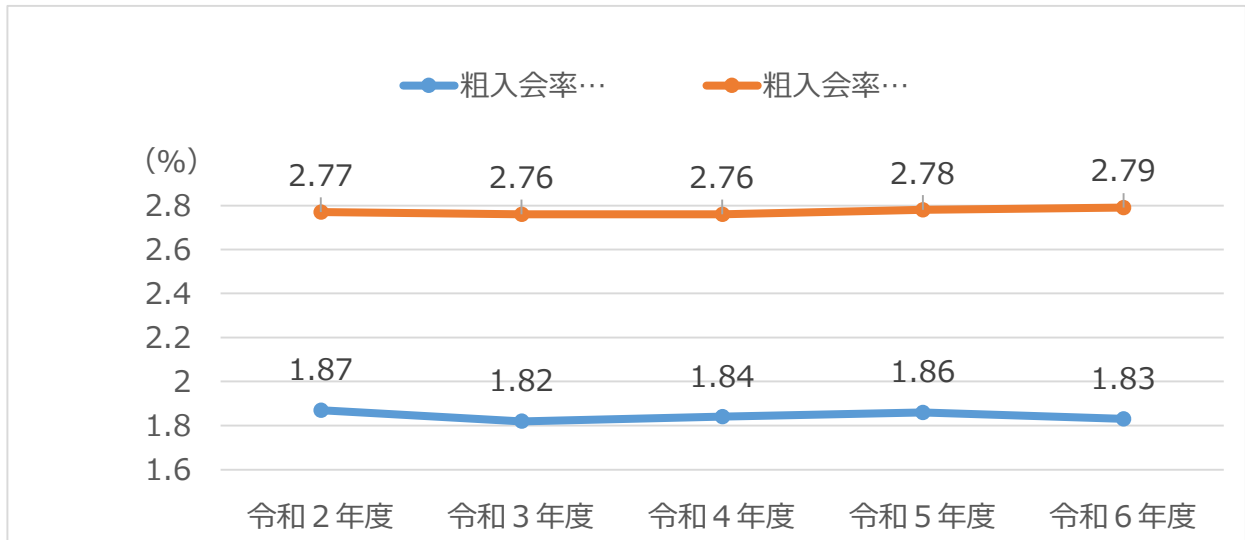
図表 1-1 会員数（男女別）



(単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
男性	451	458	457	460	449
女性	220	220	238	250	262
合計	671	678	695	710	711

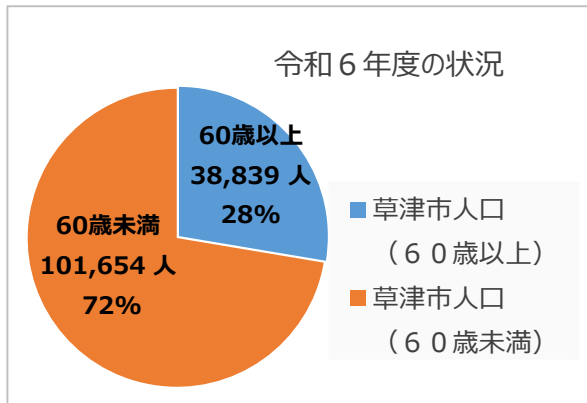
図表 1-2 粗入会率



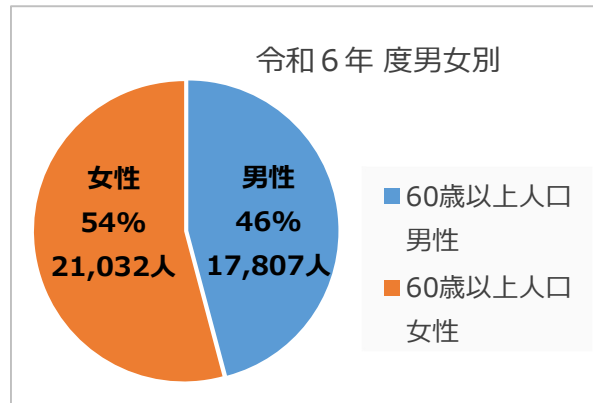
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
粗入会率(草津SC)	1.87	1.82	1.84	1.86	1.83
粗入会率(県SC平均)	2.77	2.76	2.76	2.78	2.79

(単位：%)

図表 1-3 草津市60歳以上人口



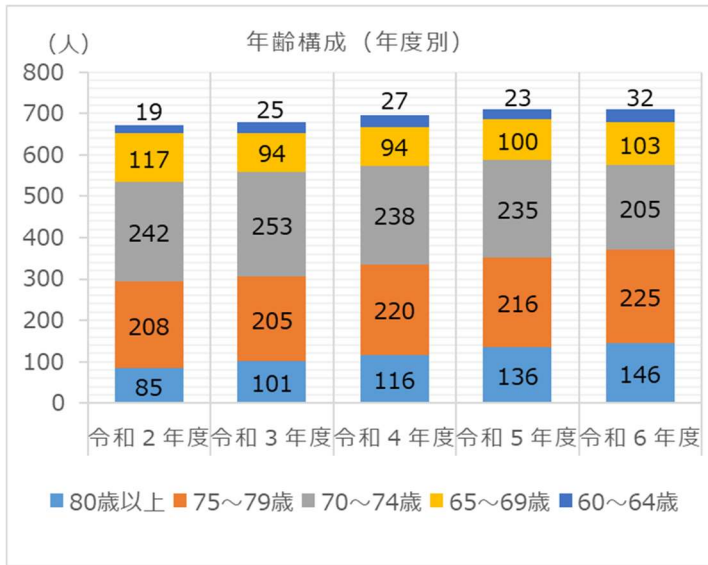
図表 1-4 60歳以上人口(男女別)



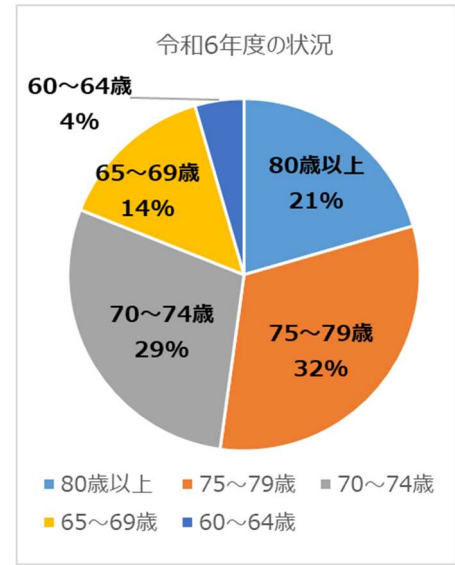
(単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
草津市人口	136,254	137,321	138,600	139,638	140,493
草津市人口(60歳以上)	35,982	37,285	37,789	38,233	38,839
60歳人口が占める割合	26.41	27.15	27.26	27.38	27.64

図表 1-5 会員の年齢構成（年度比較）



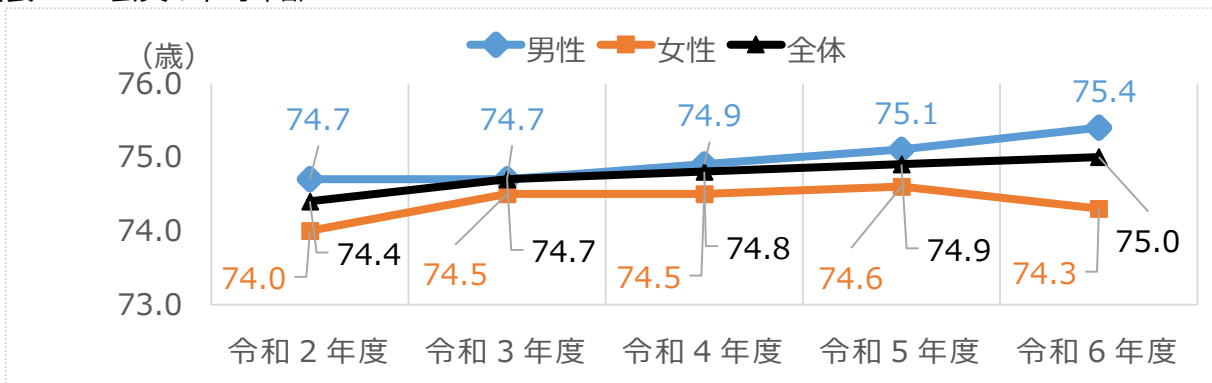
図表 1-6 年齢構成



単位：人

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
60~64歳	19	25	27	23	32
65~69歳	117	94	94	100	103
70~74歳	242	253	238	235	205
75~79歳	208	205	220	216	225
80歳以上	85	101	116	136	146
合計	671	678	695	710	711

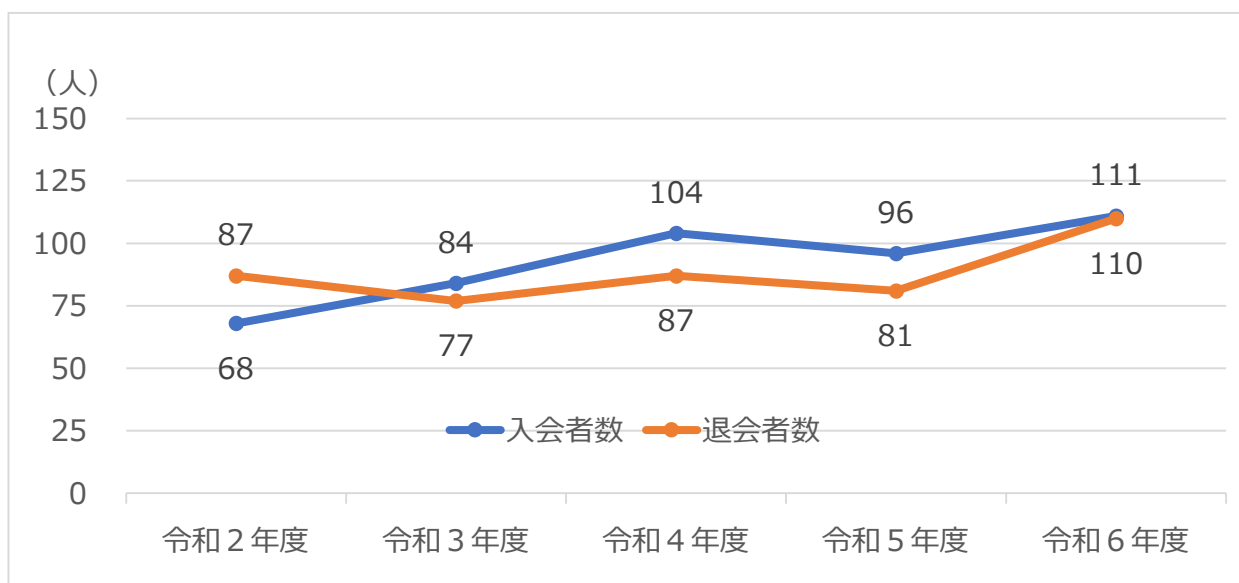
図表 1-7 会員の平均年齢



単位：歳

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
男性	74.7	74.7	74.9	75.1	75.4
女性	74.0	74.5	74.5	74.6	74.3
全体	74.4	74.7	74.8	74.9	75.0

図表 1-8 入会・退会者数



単位：人

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入会者数	68	84	104	96	111
退会者数	87	77	87	81	110
増減	▲ 19	7	17	15	1
年度末会員数	671	678	695	710	711

退会の主な理由（令和6年度上位5位）

- ①本人の病気 34.9%
- ②加齢 17.5%
- ③その他で就職 11.1%
- ④家庭の事情（介護等） 7.9%
- ⑤希望する仕事（就業機会）なし 6.3%

課題

当センターの会員数はわずかに増加を続けているものの、改正高年齢者等の雇用の安定等に関する法律等の影響を受け全国的には入会者が減少しており、今後の会員拡大は厳しい状況が見込まれます。

▶ 入会促進に向けた広報活動

今後、会員数を拡大するためには、センターの魅力を効果的に発信していく必要があります。

▶ 女性会員の増強

当センターの女性会員数は会員の男女比において、おおよそ全体の3割程となっており、会員拡大のポテンシャルを秘めています。今後、女性会員を増やすために女性をターゲットとした入会促進と魅力ある活動を展開する必要があります。

▶ 会員の満足度の向上

就業開拓等による就業機会の提供のほか、仕事以外の楽しみやセンターの魅力づくりに取り組み、新規会員の入会促進と既存会員の退会抑止を図る必要があります。

◆ 2 業務実績

現状

▶ 受託（請負）事業および派遣事業の契約額全体では 5 年間で 10%の伸びをみえています。令和 2 年度はコロナ禍の影響を受け一時的に減少しましたが、その後順調に推移して令和 5 年度には過去最高の契約額となりました。また、受託および派遣の事業毎においては、就業内容に適した契約形態への見直しを進めていることで、契約額および受託件数ともに、受託（請負）事業が減少し、派遣事業契約は増加しています。

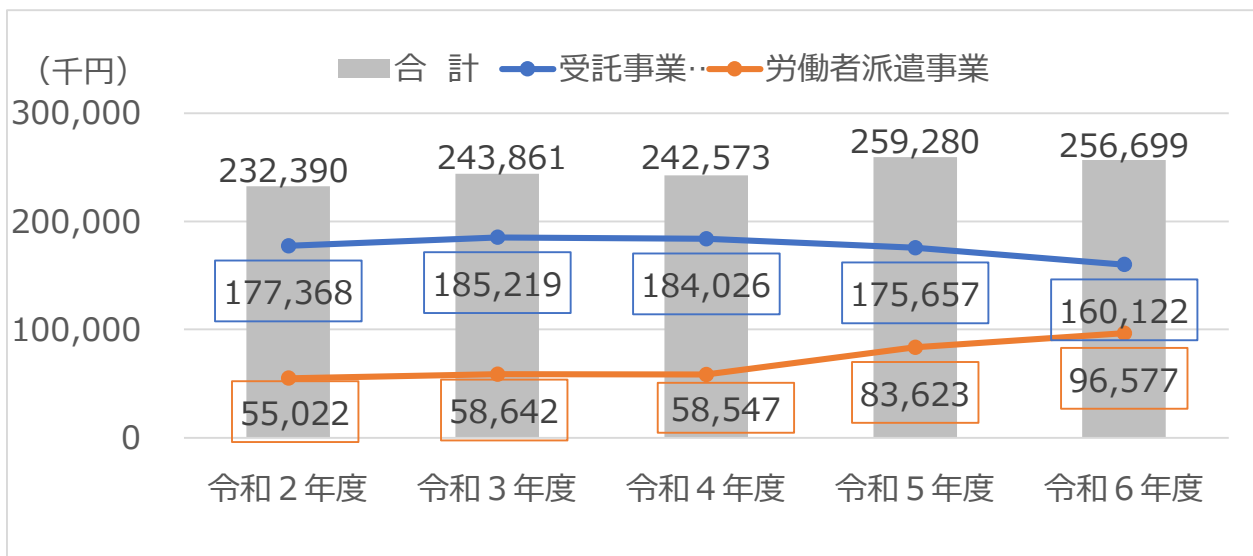
（図表 2-1、図表 2-2）

▶ 就業延べ人員と就業率は、受託（請負）事業と派遣事業をあわせた 5 年間の平均で、就業延べ人員は 284,944 人、就業率は 83.1%を推移しており、前述と同様に派遣事業は年々伸びを示しています。

（図表 2-3）

▶ 令和 6 年度の公共・民間別事業実績の内訳は、一般企業等が 80.7%を占め、屋内外の清掃や品出し・カート回収等の軽作業のほか、建物・駐車場の管理業務等、多岐にわたる職種を受注しています。また、個人・家庭は 10.1%で植木剪定や除草、家事援助等があり、公共からの受注は全体の 9.2%で剪定、除草、その他軽作業等の受託（請負）事業となっており、派遣事業の実績はありません。（図表 2-4）

図表 2-1 契約金額の推移

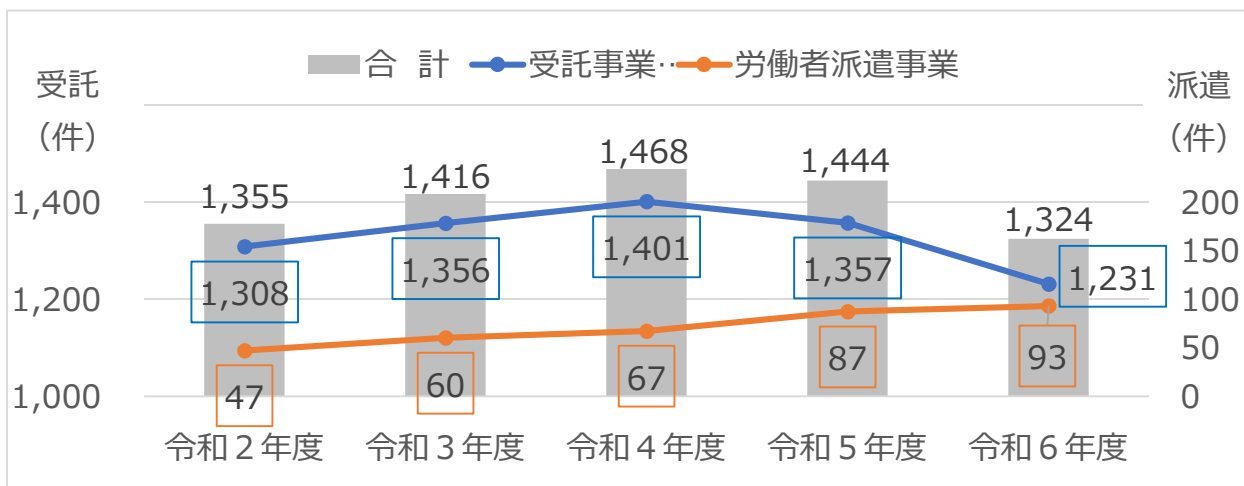


（単位：千円）

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
受託事業 (請負)	177,368	185,219	184,026	175,657	160,122
労働者派遣 事業	55,022	58,642	58,547	83,623	96,577
合計	232,390	243,861	242,573	259,280	256,699

派遣契約金額は賃金および交通費、草津市分事務費の計

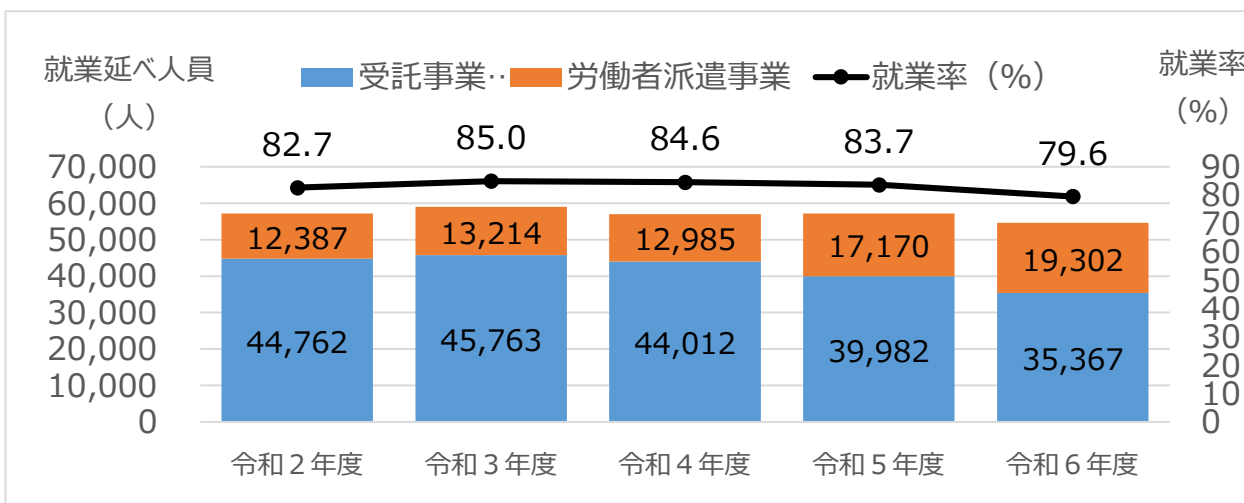
図表 2-2 受注件数の推移



(単位：件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受託事業(請負)	1,308	1,356	1,401	1,357	1,231
労働者派遣事業	47	60	67	87	93
合計	1,355	1,416	1,468	1,444	1,324

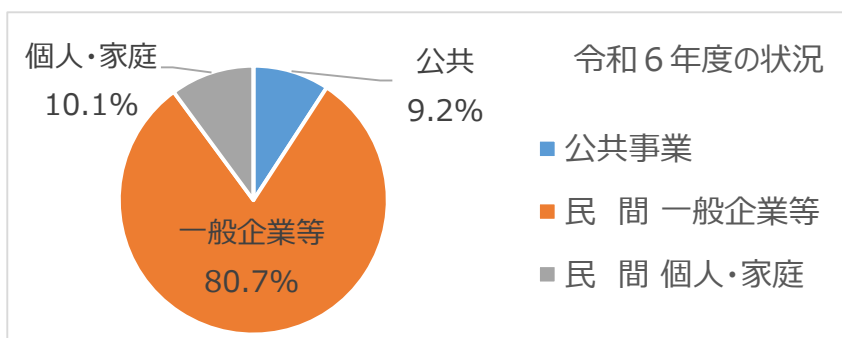
図表 2-3 就業延べ人員・就業率



(単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受託事業(請負)	44,762	45,763	44,012	39,982	35,367
労働者派遣事業	12,387	13,214	12,985	17,170	19,302
合計	57,149	58,977	56,997	57,152	54,669
就業率 (%)	82.7	85.0	84.6	83.7	79.6

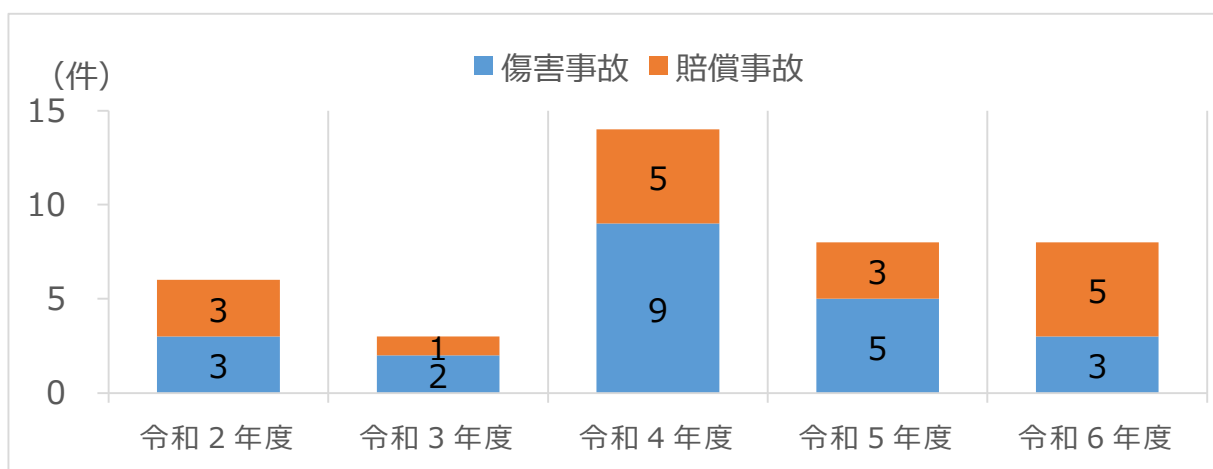
図表 2-4 公共・民間別事業実績



令和6年度 (単位：千円)

区分	公共事業	民間			合計
		一般企業等	個人・家庭	独自事業	
受託事業 (請負)	23,534	110,506	26,082	0	160,122
労働者派遣 事業	0	96,577	0	0	96,577
合計	23,534	207,083	26,082	0	256,699

図表 2-5 事故発生状況



(単位：件)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
傷害事故	3	2	9	5	3
賠償事故	3	1	5	3	5
合計	6	3	14	8	8

傷害事故：就業または通勤途上で会員自らが死傷した事故

賠償責任事故：就業または通勤途上で相手方に損害を与えた事故

課題

就業を希望する会員に対し、就業機会を提供することは地域社会におけるセンターの重要な役割です。就業開拓等による就業機会の創出、仕事と会員を結びつける仕組みを強化するほか、会員個々の特性を活かしながら、安全で、いくつになっても活躍できる環境を整備する必要があります。

▶ 様々な職種の就業開拓

会員の平均年齢は年々上昇しています。一方で近年は女性の入会者が増加している傾向があることから、高齢会員や女性会員それぞれが活躍できる就業機会等の環境を整える必要があります。

▶ マッチングの強化

会員が希望する仕事や会員が持つスキル、特技等を的確に把握して迅速に就業に結び付ける環境を強化する必要があります。

▶ 独自事業の推進

お客様からの就業機会を待つばかりでなく、会員のスキルや特技を活かした仕事を独自の創意と工夫により企画し、自主的に行える事業の創出と普及を図る必要があります。

▶ 安全就業と健康の確保

安全は全てに優先する最重要課題です。安全意識の向上と事故防止のための取組が必要です。また、会員の健康は安全就業に大きく影響することから健康状態の把握・健康増進を図る取組を行う必要があります。

第3章 計画の詳細

◆ 1 スローガン

「 はたらく喜び、つながる幸せ 」

◆ 2 数値目標

区分/年度	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
会員数 (人)	745	770	795	820	845
会員満足度 (%)	96.5	97.0	97.5	98.0	98.0 以上
契約金額 (千円) 上:受託、中:派遣、下:合計	受 158,767 派 126,266 計 284,000	159,200 127,700 286,900	160,500 129,300 289,800	162,200 130,500 292,700	163,800 131,900 295,700
就業率 (%)	81	82	83	84	85 以上
事故発生件数	傷害事故、賠償事故ともに「ゼロ」				

◆ 3 基本方針

- 1 会員の拡大と生きがいの充実
- 2 就業開拓と拡大
- 3 安全就業の推進
- 4 運営体制の充実強化・効率化

◆ 4 施策の方向

1 会員の拡大と生きがいの充実

●入会促進

- ・会員拡大に向け、今後も定期出張説明会（フェリエ南草津、キラリエ草津）を継続して行います。また、WEB 入会も増加していますので、ホームページの充実を図りシルバー人材センターの魅力を発信します。
- ・女性にとって魅力あるセミナーと入会説明会を合わせた女性限定イベントを開催するなど、女性会員増加につながる取組を推進します。
- ・新聞折込やチラシ、ポスター掲示等の広告媒体や掲示方法、関係機関と連携した PR 手法を検討します。
- ・会員紹介制度を推奨し、会員自らによる仲間づくり（新規会員の拡大）に取り組めます。

●退会抑制

- ・加齢や健康状態、家庭の事情等で就業できなくなった場合でも、センター主催の講習会やボランティア、サークル活動等が継続できるプラチナ会員制度の周知に努めます。
- ・フレンドリーショップの周知と充実に努めます。その他、会員から満足が得られる方策について調査研究します。

●会員満足度の向上

- ・就業以外の「生きがい」や「健康増進」、「仲間づくり」等を目的とした入会希望者も増加傾向が見られることから、サークルや同好会活動の充実をはじめ、各種講座の企画、その他就業以外の楽しみの充実を図ります。

2 就業開拓と拡大

●就業開拓

- ・会員の就業希望の高い 1 日から数日の案内業務やモニター業務、内職、施設管理等の屋内軽作業等の「体力が必要な仕事」よりも「手軽な仕事」の就業開拓を行います。また会員の高齢化や運転免許証返納等の状況を鑑み、公共機関等との連携を強化して「身近な仕事」や「複数人」での就業できる環境を検討します。

●就業率の向上

- ・会員専用サイト「Smile to Smile」等のデジタル媒体を介した迅速な情報提供・マッチングを強化するとともに、面談形式の就業相談会等を開催し、会員の就業を支援します。

●ハイスkill人材登録

- ・会員が就業に活かしたい資格や経験を登録し、ホームページで公開するなど、求人中の事業所とのマッチングを図ります。

- 独自事業の推進

- ・会員講師による講座や、野菜・手芸品の販売等、これまでの経験や趣味を活かした独自事業を推進します。

3 安全就業の推進

- ・会員の安全就業はシルバー事業推進の前提でもあることから、傷害事故、賠償責任事故ともに「ゼロ」を目指します。これらの達成のためには「安全意識」と「安全対策」の双方の推進が必要であり、これを念頭に会員や役員、職員全ての課題として取り組みます。

- ・安全パトロールをはじめ、安全に関する研修会や講習会等を実施し、会員の安全就業の意識や技能の向上を図るなど、事故防止に取り組みます。

- ・安全就業適正委員会会報「お元気ですか」や広報「ふれあい」の紙面を活用し、「安心・安全」に関する記事掲載を継続的に行うとともに、ホームページや「Smile to Smile」を活用し、事故の発生状況や事故を防止するための注意喚起を行います。

- ・熱中症予防や感染症等の健康管理への対応は「安全・安心」にもつながるもので、正しい理解や適切な対応ができるよう必要な取組を進めます。特に夏季においては、気温の上昇等を考慮した就業時間や休業日を設けるなどの就業体制を柔軟に行います。

4 運営体制の充実強化・効率化

- 運営体制の充実強化

- ・「自主・自立、共働・共助」理念の下、総会、理事会、各委員会、地域班活動の充実に努めるとともに、会員自らの主体的運営を目指します。

- ・毎年度の事業計画や収支予算については、各委員会での新規・拡大事業等の検討を経て理事会で審議するなど、企画段階から会員の主体的な事業参画を図ります。

- ・会員、役員、事務局が協働・連携して公益社団法人としてのコンプライアンスを遵守し、適切な会計処理、各種センター事業を推進します。

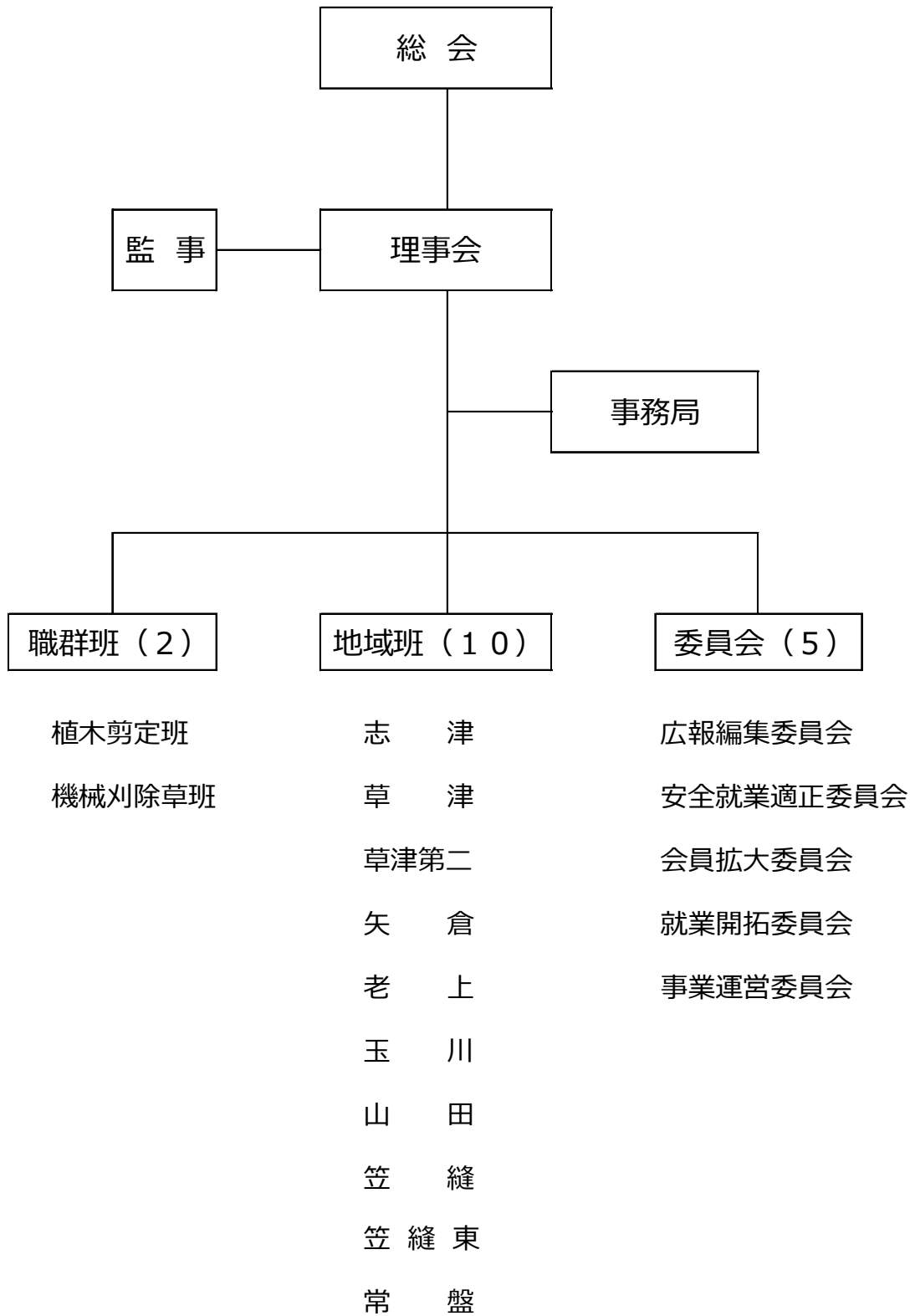
- ・安定経営を推進するためインボイス制度の財源確保に向けて引き続き対応策を検討します。

- ・経営基盤の強化、業務の効率化のため、センター事業全般のデジタル化を推進するとともに、会員のデジタル活用を推進します。

- 会員活動の充実

- ・就労を通じた生きがいづくりや社会参加に加え、「社会貢献」の取組も重要であり、地域に根差したボランティア活動の積極的な勧奨に努めます。また、長年蓄積された知識や経験等、高齢者ならではの特性を活かした社会貢献活動を検討します。

草津市シルバー人材センター 組織図



生き生きプラン

(草津市シルバー人材センター 第3次中期計画 令和8年度～令和12年度)

発行：令和8年（2026年）3月

編集：公益社団法人 草津市シルバー人材センター

〒525-0005 草津市志那町2554番地1

TEL 077-568-8881

FAX 077-568-8883

e-mail kusatsu@sjc.ne.jp

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/kusatsu/>

